



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

稲の姿に

学校長 山崎 薫

夏休みの終盤になり急遽決定した臨時休校措置により、本日、夏休み明け登校初日を迎えました。保護者の皆様の中には、お子さんの居場所の確保でご苦労された方もいらっしゃるかと拝察いたします。また、13日まで分散授業となります。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、夏休みの前後でコロナの感染状況は激変し、現在では、再び子どもたちの学びの機会を制限する事態となってしまいました。一年遅れのオリンピックやパラリンピックも、多くが無観客開催になりました。西日本を襲った豪雨の被害も深刻でした。社会全体が心身に疲れを感じている現在、子どもたちも例外ではありません。多くのストレスや不安を感じている可能性も大きいです。感染防止対策と共に、子どもたちの心のケアにも一層努めてまいります。

せめて学校内で明るい話題はないかと探してみると、人間の不安や混乱をよそに5年生が植えた教育水田の稲が見事に育っていることに気付きました。今回はそれを紹介したいと思います。

8月19日、全職員、都合のついた5年生児童、保護者ボランティアの方で、稲に「網掛け」を行いました。田植え以来約2か月、小さな苗は見事に成長し、間もなく穂が出る段階まで来ていました。今年からお借りしている田んぼが変わったため、用意する網の大きさ、網を支える棒の位置なども変わったのですが、事前の計画が功を奏し、例年よりもスムーズに協力して無事作業を終えることができました。

今年は5年の畑中教諭が、毎日定点で写真の様子を撮影して子どもたちに見せています。日々の様子を見比べてみてもさほど変化は見つけづらいのですが、2か月経つと成長の大きさに驚きます。オリンピック金メダリストの笑顔の裏の「日々の努力の継続」が報じられたように、物



田植え当日 (6月9日)



田植え翌日 (6月10日)



網掛け後 (8月19日)

言わぬ稲も日々光合成をし、蒸散活動で水と無機養分を吸収し続けた成果が今の稲の姿であると感じました。継続して努力を続けることの大切さと成果の大きさを全く違う分野からではありますが子どもたちに感じてほしいと思いました。

26日の朝、私は稲の様子を観に行きました。田んぼに着くと、早稲の芳りがとても心地よかったです。何と、「稲の花」が咲いていました。稲の花はわずか数時間しか咲かず、すぐにしぼんでしまいます。貴重なものを見られ嬉しかったです。稲の花、ご覧になった方は居らっしゃいますか。ぜひ、「稲の花 画像」で検索してみてください。意外な姿をしています。児童の皆さん。どんな姿をしていますか。見た感想を待っています。